

福嶺紀秀先生「老騏の歩み」 (平成24年12月号掲載)を表彰!!



スイス旅行の折、ジュネーブのオービーブ公園を歩き疲れ“ナカユクイ”していると一人の老紳士が目に入った。

山高帽、眼鏡、ステッキ。リタイヤした老医(?)指揮者(?)それとも……。

そんな風貌に想像をめぐらしているうち、被写体は目の前を通りすぎてしまい後姿となってしまった。

宜野湾整形外科医院
福嶺 紀秀

コメント

広報担当理事 本竹秀光

福嶺先生、会報表紙グランプリ受賞おめでとうございます。広報担当理事としてコメントを述べたいと思います。平成24年度の会報表紙のグランプリには宜野湾整形外科医院の福嶺紀秀先生の「老騏の歩み」が選ばれました。これまでの表紙は風景写真が多い中で的人物をモデルとした表紙写真はそれだけでも印象に残りました。タイトルの老騏の歩みは杜甫の「老騏千里を思う」からの引用だと思えます。年配の先生方にはおなじみの言葉とは思いますが、若い先生方にはあ

まりなじみのない言葉ではないでしょうか。年老いてもなお高い志を持ち続けているたたとえば、福嶺先生には目の前を通り過ぎた老紳士の風貌に瞬時に老騏を感じたのでしょうか。或いはまだまだ現役であるぞと言う先生の志でしょうか。私が個人的に先生とお会いしたのは、先輩に連れて行かれたBarでした。その時の先生の印象は年齢より非常にお若く、お酒も強く現役そのものでした。老騏を想像するにはまだまだお若い、先生のこれからの活躍を祈りつつ、これからも表紙写真を提供していただきますようお願い申し上げます。